

ほ におい 穂 香 タイムス <10月号>

北方四島交流センター（ニ・ホ・ロの最近の出来事）

第28回 根室産業フェスティバル

10月7日、「ニ・ホ・ロ」隣の市イベント広場で「第28回根室産業フェスティバル」が開催され、多くの市民や観光客が根室の秋の味覚を楽しんでいました。



「ニ・ホ・ロ」にも多くの方々が来館し、子供たちは妖精探しなどのクイズやぬり絵など楽しんでくれました。



全国都道府県・政令指定都市北方対策主管課長会議

内閣府北方対策本部による平成24年度全国都道府県・政令指定都市北方対策主管課長会議が10月10日から12日まで根室管内で開催されました。

会議は、北方領土問題の啓発事業などを担当する主管課長などに領土問題の現状を理解してもらうため、毎年根室管内を会場に開いているもので、今年は標津町が当番となり全国から44名が参加しました。



2日目の11日は、北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」に移動、館内を見学しました。参加者は説明員からの解説に耳を傾け、領土問題の歴史的経過や四島交流の様子などについて理解を深め、長谷川俊輔根室市長から歓迎あいさつの後、当館の高橋孝志専門員（元島民歯舞群島・勇留島）からの講話には、早期返還を切望する原点の悲願を心に刻んでいました。

「ビザなし訪問医療関係者」研修団が来館

ビザなし交流の一環である「北方四島医師・看護師等研修事業」で5名の訪問団が10月3日来訪し、ニ・ホ・ロを見学しました。

また、日本文化ルームで茶道体験に挑戦しました。皆さんは正座が苦手なようで文化の違いを感じていました。



全国から「北方領土青少年等現地視察団」が根室入り

全国の青少年等に北方領土問題を身近にとらえてもらい、返還要求運動を継承してもらうことを目的に、北方領土問題対策協会が新たな取り組みとして、全都道府県民会議を主体に「北方領土青少年等現地視察団」事業が実施されています。

小学生から大学生までを対象に視察団を編成し、北方領土隣接地域である根室管内1市4町を訪れています。

■ 10月7日 和歌山県民会議「北方領土青少年等現地視察団」18名



二・ホ・ロでは、館内視察の後、志発島の元島民である木村芳勝さんより、当時の島の様子など講話を聞いたあと、地元高校生による北方領土学習を行い、北方領土問題への認識を深めていました。



来館者ニュース

福岡県糸島市議会の皆さん

10月2日、福岡県糸島市議会の皆さん11名が行政視察のため根室市を訪れ、二・ホ・ロを視察されました。

二・ホ・ロでは、市北方領土対策課職員より北方領土問題についての説明を受けたあと、館内を視察され、戦前の四島の産業や暮らしについて質問されるなど、展示された資料をじっくり見学され領土問題に対する見識を深められていました。



大阪教育大学付属高等学校天王寺校舎の皆さん

10月4日、大阪教育大学付属高等学校天王寺校舎の修学旅行生23人が、二・ホ・ロに訪れ、根室西高生と交流を交わしました。



交流の中で、根室西高生徒からの北方領土学習や説明員からの解説に真剣に耳を傾け、北方領土問題についての認識を高めておりました。

地元に戻ったら、是非、家族の方やお友達など多くの人に北方領土のこと教えてあげてください……ネ。



栃木県民会議 現地視察団の皆さん

10月6日、佐々木進・連合栃木アドバイザーを団長とする北方領土返還要求運動栃木県民会議現地視察団7名が二・ホ・ロを視察されました。

栃木県民会議は設立30周年を迎え、5年ぶりに現地視察で訪れ、根室市役所では、長谷川市長から北方領土問題の概要や返還運動の取り組みなどの説明を受けておりました。



長崎県大村市議会の皆さん

10月9日、長崎県大村市議会の皆さん7名が行政視察のため根室市を訪れ、二・ホ・ロを視察されました。

二・ホ・ロでは、北海道立北方四島交流センターの施設概要、また、市北方領土対策課職員より北方領土問題についての説明を受けたあと、館内を視察され、今日の返還運動の先駆者である当時の安藤石典根室町長の写真を興味深くご覧になるなど、展示された資料をじっくり見学され領土問題に対する見識を深められていました。



大村市議会の皆様には、ご来館されました機会に、それぞれの立場で北海道根室市の二・ホ・ロをPRいただきまして、北方領土問題の早期解決につながりますよう、一層のご支援をお願いいたします。



滋賀県民会議 現地視察団の皆さん

10月17日、北方領土返還要求運動滋賀県民会議の第30回北方領土視察団（団長：佐野高典県議会議長）32名が来館しました。

現地視察は結成翌年から毎年実施しているもので、視察団の皆さんは、前日の根室市民との交流やノサップ岬視察などを経て、「二・ホ・ロ」を見学され、その後、尾岱沼から洋上視察などのスケジュールを忙しくこなされ、北方領土問題への関心の高さが覗えます。



奈良県民会議 現地視察団の皆さん

10月18日、北方領土返還要求運動奈良県民会議 現地視察団 18名の皆さんが「二・ホ・ロ」を訪れ、歯舞群島（勇留島）の元島民であり、当館の専門員でもある高橋孝志さんの講話を聞くとともに、館内を見学されました。

参加された皆さんは、島での思いや景色のすばらしさなど真剣に聞き入っていました。

■ 北方領土に関わる先駆者と奈良県

日本とソ連の境界を定めた日露通好（和親）条約の締

結交渉の日本側代表で、元奈良奉行であった川路聖謨、もう一人は北方開拓の先覚者として、大台ヶ原（奈良県・三重県）の近代における紹介者でもある松浦武四郎です。

この二人は、先覚者として忘れることのできない人物です。



北方青少年塾

この事業は北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催するもので、根室管内の小・中学生に北方領土問題に対する正しい理解と認識をもってもらうために、平成13年度から実施しております。

＜10月10日 別海町立別海中央中学校＞ 69名



生徒たちは、高橋専門員の講話や展示室・資料室での説明員の解説に耳を傾け、メモをとったり、質問したりと事前学習の成果が非常によく現れていました。

お知らせ

根室西高インターンシップ

10月16日から3日間

根室西高等学校2年生の佐藤輝君と遠山純平君の2名が、「ニ・ホ・ロ」でインターンシップ（就労体験）を行いました。



2人は北方領土クイズの作成やビザなし受入対応、設備の点検・作業などを体験し、佐藤君は「想像していた館内案内の仕事以外に色々な仕事があって楽しかった。」遠山君は、「普段の日常では体験できない事をさせていただきました。この経験を生かしたい。」と感想を述べていました。

・・・御2人共お疲れ様でした！

「見て知る北方領土展」を開催します。

北方領土対策根室地域本部主催によりますロビー展が開催されます。

北方領土返還運動に関するパネル等が展示されますので是非、ご覧ください。

と き： 11月1日(木)～11月30日(金)

ところ： 北海道立北方四島交流センター
(ニ・ホ・ロ) 1階ロビー



「ニ・ホ・ロ」利用のご案内

■ 11月から4月までは、
毎週月曜日が休館となりますので、お知らせします。



寄贈されました。

■ 札幌ねむろ会の大塚小彌太さんから、エトピリカのステンドグラスが寄贈されました。
大塚さんによる手作りのもので、現在、「ニ・ホ・ロ」1階ロビー設置の齒舞群島ジオラマの上空を飛んでいます・・・！？

